

## あさか開成高等学校オーストラリア海外研修 10 日目 (7/24)

ついにホストファミリーとのお別れの時がやってきました。朝いつものように学校まで車で送ってもらいましたが、離れがたくハグをしたり、もう何度目かもわからない「Thank you」を最後まで伝えました。中にはコーディネーターの所まで来て、どれだけ素晴らしい生徒だったか、自分たちがどれ程一緒に時間を楽しんだのかを報告しに来てくれるファミリーもいました。小さいホストシスターやブラザーは泣いてしまったり、今日が最後だとわからず「あとで遊ぼうね」と言ってくれる子もいて、ますますお別れがつらくなってしまったようです。生活を通してオーストラリアについて知ることは多々あり、それはホストファミリーが家族の一員として接してくれ、言葉だけでなくコミュニケーションを取ってくれたおかげに他なりません。初めて海外に来た、ホームステイをしたと言う生徒にとっては特に衝撃的で、すべてが新しい経験となりました。日本でホストファミリーとして海外の人を受け入れるのもいいかもしれない、海外の学校に進学してみたい、という話が自然と生徒の口から出るようになりました。今回の経験を通し、海外や外国人と関わる未来もより現実的に描けるのではないのでしょうか。

ホストファミリーに見送られ、この研修最後のプログラムであるキャンプのため Bestbrook に移動しました。学校から二時間ほどで辺りは一気に山へと様変わりし、到着後、大自然の中で食べたランチは実に開放的でした。午後はまさに自然体験のフルコースで、乗馬、羊の毛刈り、馬の蹄鉄交換、搾乳体験、餌やり・・・と様々な動物と触れ合いました。動物好きな生徒でも手慣れたスタッフと比べると手間取ったり、思った通りにいかなかったりと、生き物を相手にする厳しさを知りました。スタッフ一人一人がユーモアを交え楽しさを重視した体験となっており、ここでもオーストラリアらしい国柄や人柄を感じました。キャンプ場のスタッフはほとんどがオーストラリア人なので英語で全て説明をされましたが、一名日本人のスタッフがいたため、ところどころ通訳をしてくれました。それでも、質問を促されるとジェスチャーを用いながら英語で聞き、通じた時は嬉しそうでした。

夕食後はキャンプファイヤーをし、歌に合わせてスタッフが教えてくれたダンスを踊ったり自分たちが好きな曲を流したりしてオーストラリア最後の夜を過ごしました。夜になり急に気温が下がった為、皆が集まるレクリエーションホールには薪ストーブが焚かれています。夏の暑さ厳しい日本とは真逆の場所にいる事を実感しつつ、「まだオーストラリアにいたい」という声が多く聞かれた夜でした。

明日はいよいよ帰国の途につきます。この研修を経て更に逞しく成長した姿を見て頂けることと思います。



ホストファミリーに最後の挨拶①



ホストファミリーに最後の挨拶②



キャンプ場でのランチ①



キャンプ場でのランチ②



乗馬体験



羊の毛刈りを見学



ブーメランにペイント



馬の蹄鉄についての説明中



Bestbrookにて集合写真